

明石市立大蔵中学校だより「2021年4月7日(第104号)」

書あり 師あり 友ありて

新年度のごあいさつ

学校長 平田 高之

新型コロナウイルス感染症の第4波の到来が心配されますが、例年より早く本校の桜の花は咲き誇り新年度を迎えてくれていました。本日は始業式で転入生2名を、明日は192名の新入生を迎え、全校生徒557名、教職員47名で、令和3年度がスタートします。

2年前の4月に18年ぶりの学校現場へ。しかも初任の学校である思い出深い大蔵中学校に着任させて頂きました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症により、さまざまな教育活動に制限がある中でも、本当に良く頑張ってくれ卒業した74回生の生徒たちを中心に、地域・保護者の皆さんに非常にご理解ご協力頂き、生徒・卒業生・保護者・地域の方々に誇れる大蔵中学校に少しは近づけることができたのではないかと考えております。

また、できるだけ生徒の活躍や学校の考え方(特に新型コロナウイルス感染症・熱中症対応)等をお知らせするために、「学校だより」を発行し、ホームページを充実させる等情報提供に努めてまいりました。おかげさまで、2020年度一年間のホームページのアクセス数は約37万8千件となり、2018年度の約2.9倍、2019年度の約1.7倍、1日平均1,035件となりました。ご活用頂きありがとうございました。本年度も引き続き努力してまいります。

昨年度の私自身のテーマは「超えていけ!」として、生徒の皆さんには、前年までの自分を越えていけるよう話をし、自分自身も心がけたつもりです。本年度は「エール」としました!新型コロナウイルス感染症の中で、厳しい経済状況におかれている方や医療従事者へ、さまざまな大会やコンクールがなくなった生徒・学生へ、また、東日本大震災から10年になる中で自然災害に被災された方や復興に力を注いでいる方へ等、さまざまな形で日本中、世界中の人々の間でエールが送られました。

先日の卒業証書授与式で、また、本日の始業式でも、さらに、明日の入学式でも生徒の皆さんに話をしようと思っているのですが「エールは受けるばかりでなく、お互いに送るもの。自分が苦しい時に励ましてもらった時の嬉しさを忘れず、苦しんでいる友達に返すことができることが大切。お互いにエールを送り続け、それぞれの夢の実現に一步ずつ進んでほしい」と願っています。

そして、これは2年前から言い続けているのですが、苦しい場面でも「Keep smile」「Stay positive」の精神で乗り越えてほしいと、私たち教職員は保護者の皆様と一緒に大蔵中生にエールを送り続けます。

昨年度末人事異動で、本校を支えてくれた岩澤教頭を含め7名の教職員が転出し、森岡教頭はじめ8名の教職員が採用または転入してまいりました。新たに採用・着任した教職員と力を合わせ今まで築かれてきた伝統に新たな歴史を刻むべく、教職員47名がチーム大蔵として「**ONE TEAM**」となり、在校生はもとより、卒業生、保護者、地域の皆様から誇れる学校にしていけるよう、誠心誠意取り組んでいく覚悟ですのでよろしくお願いいたします。



☆目指す学校像☆

- 生徒にとって**来て良かった** 学校
- 保護者にとって**預けて良かった** 学校
- 教職員にとって**勤めて良かった** 学校

- 生徒の自尊感情を高め、生徒が、自分自身に、友達に、学級・学年・学校、ふるさとし、**大蔵中生であることに誇りを持てる** 学校

- いじめを絶対に許さない、誰もが過ごしやすい** 学校

本校職員異動のお知らせ

4月は別れと出会いの時期でもあります。長年に渡り、本校教育の推進に寄与した教職員を送り出すことになりました。保護者や地域の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、厚くお礼申し上げます。また、後任として以下の教職員が着任しましたので、前任者同様よろしくお願いいたします。

